

## 西東京三田会 令和3年度第2回 役員会議事録

日時：令和3年5月23日（日）午前10時～12時

会場：コール田無 会議室 A

出席者：樋口[議長]、牛島、佐藤、篠崎、高橋、田中、原（洋）、渡辺（康生）、渡辺（康隆）、  
宮本、横田、大内[書記]、事前欠席者：坂口、宝井、原（護）、三輪、中村、小笠  
原、町田

配布資料：①会務・会計報告 ②会長作成に依る総会・懇親会に関する私案  
議事内容

### 1. 事務・会計報告

幹事長より配布資料①に沿って会務報告がなされた。

・退会者に関し、鈴木会員は、総会通知が宛先不明で返送、連絡が取れないこと、加藤会員は長年に亘り海外で生活されており、帰国に際し改めて入会に関し打診を行う旨の説明があった。

・写真・作品展に関して、今年度是非復活させたいので、通例より約1ヵ月早まるが10月4～10日に柳沢公民館を予約済であることが報告された。

横田会員より配布資料①に沿って、前回報告以降の会計報告がなされた。

・総会用に予約してあるコール田無に関しては、会が中止される場合には返金される旨説明があった。又、ゆうちょへの年会費振り込みに関し、手数料負担は出納報告に表記の通りであるが、ネットを使う方法がベストであるとの説明があった。

### 2. 総会開催方法等に関する継続審議事項並びに前役員会以降の状況確認

・会長より、掲題に関する事項を討議する主意説明がなされ、その後審議に入る。

以下各員からの発言要旨

幹事長：継続審議が必要な問題がある他、前回会議で自身の意見を述べる時間が無くこの場で意見を言いたい。2年前の総会では、会長が議案の説明の後、賛否の確認無しで議事を進めたことを思い悩んでいた。

篠崎：総会では報告だけで終わるべきではない。

会長：令和元年の総会の運営方法に関し、幹事長から意見を言われた。（説明として資料②に沿って説明がなされた。）自分としては、総会の在り方を簡略化したいと考え、その考えのもと懇親会に多くの時間を回した。

幹事長：当会の会則には総会に関する会則があり、決議を要するものもある。稲門会会長からも、総会で議決がなされないことを訝るコメントもあった。

田中：当会は任意団体であるが、会則がある以上ルールに従うべき。

会長：自分としては、質問や意見を募ったつもりであった。進め方が悪くて申し訳ない。然し、会長に選出されたのであるから、次回の総会も同様に進めたい。

幹事長：前回の総会と今回の総会で何故決議方法を変えるのか。それでは、ダブル

スタンダードになる。出席している他の役員の見聞も聞いて欲しい。

篠崎：当会の目的が懇親を第一義とすることには納得するが、総会の議事はやり方次第で時間の短縮も出来る。決議に関してはしっかり議論すべき。

原（洋）：懇親を第一とする当会の原点に立ち返るべき。然し、会費を徴収している以上活動報告はなされるべきである。総会の簡潔化には賛成。

渡辺（康隆）：皆で仲良くするのが当会の目的でもあり、こうした喧々諤々とした議論を戦わす会ではない。総会の形などはどうでもよい、それが本音。

牛島：懇親交流が第一義。会長に一任すべきである。総会の賛否は簡潔にすべき。

宮本：前回の会議で、新会長の遣り方を皆で評価した。2年前のことを敢えて責任追及すべきではない。次回、その遣り方を改めて問えば良い。

佐藤：総会の遣り方は2年前にモデルチェンジした。2年前のことを蒸し返すべきではない。令和4年総会に向けた議論が建設的。新役員を迎え皆で協力すべき。

横田：総会では最後に異議の確認をすることで充分。「これで遣る」という宣言や決意表明でも良いと思う。

渡辺（康生）：奥村元会長も親睦を第一義と考えていた。任意団体であり、任意の遣り方で良い。何を定めるべきかを明確にし、その内容をどう定めるかで意見が分かれている。決め方を皆で理解し進めることが肝要。

田中：会長と幹事長の反目を苦痛に感じる。会則がある以上それに従うべき。

大内：総会の決議に際し、会長は意識的に決議を飛ばした訳ではないと仰っている。

何故敢えて蒸し返して、民主主義の崩壊とまで謂うのか。感情に走ったエキセントリックな議論には辟易するばかり。

幹事長：会長の遣り方は基本的人権を侵害し、民主主義を崩壊させる行為。

会長：次回総会では、総会議案の最後には必ず決議承認を経る。

篠崎：前回の会議で、新任役員任期を2年、再任は1年とするかどうかが継続審議になっている。

会長：令和3年を出発点として2年任期としたい。会長に関しては1年とする。

幹事長：任期については継続審議としたい。

### 3. その他（今次総会中止に関する確認事項）

・コール田無自体の使用は可能であるが、会場の使用は2次的な問題であり、中止に関し役員会で事後承認を取り付ければよく、何度も会員にレターを出すべきではない。

（原洋一）

・来賓には中止を連絡すべきでは（宮本）・・・他会同様見合わせている（幹事長）

・30日までに異議の連絡があればどう対応するのか（渡辺康隆）

大多数が賛成なら可決とする（会長）・承認された旨の通知もしない（幹事長）

以上

次回役員会の日程は未定

文責：大内